

全コース共通

【開講年度・学期】 2017年度・a（昼間クラス）前期 b（夜間クラス）前期
【科目名】 生活科学論ゼミナール
【英語表記】 Seminar on Human Life Science
【科目ナンバリング】 HHLS6501
【担当教員】 西川禎一 ほか
【授業形態】 ゼミナール
【単位数】 2単位（1年次必修）
【当学科・コース学生以外の受講】 不可

【科目の主題】

現代の世界における人々の生活と取り巻く課題をどう見るか。私たちが暮らす日本の生活と課題をどう見るのか。そして地球市民として世界と日本の生活を考えるとき、私たちはどのように暮らし行動すべきなのか。この明白な単一解を見出しえない命題について、食・健康科学、居住環境学、総合福祉・心理臨床科学の3つの専門分野の大学院生と教員が議論し模索する。このプロセスを通じて、各人がそれぞれの視座を確立し、専門に安住せず、多様な視点を有する人材と協働しながら生活課題に対して挑戦し続けることのできる基盤を形成する。

【授業の到達目標】

主題を理解し、実践する際に応用可能な知識、スキルとして定着させる

【授業内容・授業計画】

授業日程表は第1回の講義時に通知するが、昼間開講コースは4/17, 5/8, 5/22, 6/5, 6/19, 7/3, 7/10, 7/31、夜間開講コースは4/11, 4/25, 5/9, 5/23, 6/6, 6/27, 7/11, 7/25の予定

第2～7回は全て講義と演習からなる。

第1回	研究不正防止・研究倫理について（研究科長）・生活科学論ゼミナール概論（西川）	(2コマ)
第2回	生活科学と食環境（西川・安井）	(2コマ)
第3回	栄養学の外から見た食の効用と生活科学への応用（山本雅之・葩島）	(2コマ)
第4回	生活科学と居住空間デザイン（小池）	(2コマ)
第5回	超高齢社会における生活科学を考える（篠田）	(2コマ)
第6回	2040年の少子高齢・人口減少社会を想定する（岩間）	(2コマ)
第7回	地震と住まい（渡部）	(2コマ)
第8回	ゼミナールのまとめ（西川）	(1コマ)

【事前・事後学習の内容】

毎回の授業で指示する

【評価方法】

授業中の質疑応答とレポート

【教材】

課題図書リストと資料を配布する

【受講生へのコメント】

“生活科学とは何か”について学修することにより、個々の研究に生活科学の視座を持ち、地球市民として思考を巡らせながら地域で活動するAdvanced QOL promoterを目指してください。

【開講年度・学期】 2017年度・後期集中
【科目名】 生活応用統計学特論
【英語表記】 Advanced Statistics and Its Applications for Human Life
【科目ナンバリング】 HHLS6502
【担当教員】 永村 一雄・佐伯 茂
【授業形態】 講義
【単位数】 2単位
【当学科・コース学生以外の受講】 可

【科目の主題】

居住生活の諸問題に統計学の知識を活かそうとすると、適用するための方法論とそれを運用する技量が必要となる。これらの基礎は、学部で履修することになっている。本特論は、応用や適用の実際を意識して、用いる方法論の本質的な理解を行い、運用の適否を判断できる能力を養う。

【授業の到達目標】

下記4項目の概念的理解を達成目標とし、口頭試問でそれを確認する。
基本統計量の内容、回帰の論理、検定の構造、ベイズ統計学の初歩

【授業内容・授業計画】

たんなる手段の解説や操作の教授は一切行わない。あくまで、運用の理解に徹する。そのため、適切な題材を対象に、討論形式で講義を進める。発表の時間と、黒板を使った解析の説明などを院生自身で体験してもらう。内容は主に以下の構成である。

1. 基本統計量の性質と意味—平均と期待値は違う!?
2. 統計的検定の枠組—結果を恣意的に操作できる!?
3. 回帰問題の本質—残差の性質と診断
4. 多変量への拡張
5. 計量尺度への拡張

【事前・事後学習の内容】

配布資料を講義までに読んでおくこと。講義終了後は復習すること。

【評価方法】

毎回出席し、討論に参加すること。また、事例を用いた演習を課す。両者を総合して評価する。

【教材】

毎回、資料を配布。

【受講生へのコメント】

記憶ではなく、理解する、という意味を実感するために、この講義を行う。積極的に参加されたし。

【開講年度・学期】 2017年度・前期集中
 【科目名】 国際科学コミュニケーション
 【英語表記】 Global Scientific Communication
 【科目ナンバリング】 HHLS7501
 【担当教員】 ファーナム クレイグ・早見 直美
 【授業形態】 演習
 【単位数】 2単位
 【当学科・コース学生以外の受講】 不可

【科目の主題】

Course is a concentrated course over 4 days, with breaks between to allow students to prepare writing and oral presentation assignments.

【授業の到達目標】

To help graduate students write clear English-language research papers and present at English-language conferences.

【授業内容・授業計画】

This course will be conducted in English. Japanese-language consultation is available during office hours.

Each theme will start with written practice and oral practice of key phrases. Then, each student will do the complete oral presentation task, receive feedback from instructors and other students, and repeat the task with improvement.

Theme	Hours	Written work	Hours	Presentation practice
Research summary and background	2	Literature review Defining specialist terms	2	Self-introduction 1-minute summary of research for general/ for specialists
Describing processes	2	Describe a scientific process Describe an experimental procedure	2	Presentation basics 3-minute presentation of experiment or process
Data, Graphs and Charts	2	Explain numerical data Explain equations Explain charts	2	5-minute presentation of results or data
Discussion and conclusions	2	Make conclusions based on data Explain results in context of previous knowledge and expectations Explain unusual results Explain significance of results	3	5-minute presentation of results with conclusions and discussion
Question & Answer	2	Answering a peer review Most likely questions Responses for difficult questions	2	Answer questions Answer difficult questions Pose questions
Final presentation		2-page (A4) presentation outline	3	Each student gives 9 minute presentation with 5 minute question and answer

【事前・事後学習の内容】

Self-study and at-home oral practice is required.

【評価方法】

Class participation (40%) Writing assignments (30%)

Oral presentation assignments (30%)

【教材】

Some handouts from the instructors. Each student's individual research material and papers.

【受講生へのコメント】

Basic literacy with word processing, spreadsheet and presentation software (such as MS